

本時の見どころ

広島市の人口増加の理由を、様々な視点から考察する 1 時間です。考察を手助けするために、自分たちが暮らす菊陽町の人口増加の理由を考えた上で、広島市について考察をしていきます。教師側から視点を与えず、KJ 法によるグループ学習を通して、様々な視点に気付いていき、人口が増加する原因について対話的に学んでいく姿勢を育成していきたいと思えます。

社会科（地理的分野）学習指導案

日 時 平成30年10月30日（火）第2校時
場 所 菊陽中学校2年5組教室
年 組 菊陽町立菊陽中学校 2年5組 34名
指導者 菊陽町立菊陽中学校 教諭 境 怜央

1 単元名 中国・四国地方—都市と農村の変化と人々の暮らし—（東京書籍 p.191~p.202）

2 単元について

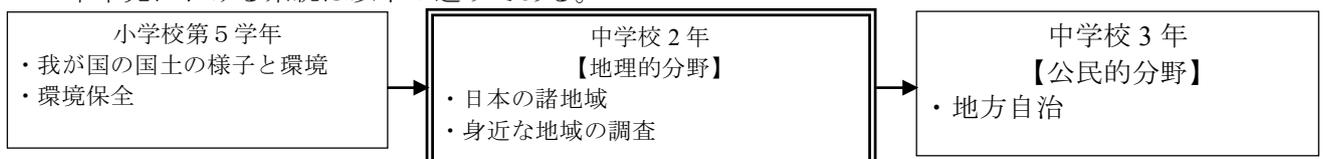
(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の地理的分野「内容」〔(2)日本の様々な地域〕の「ウ 日本の諸地域」の「(オ)人口や都市・村落を中核とした考察」にあたる。この中項目は、日本を幾つかの地域に区分しそれぞれの地域の特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて追求する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色を捉えさせることを主な狙いとしている。このうち「(オ)人口や都市・村落を中核とした考察」とは、都市部への人口流入と過密化、過疎化、都市圏の成立など、人口や都市、村落に関する特色ある地理的事象に着目し、それを中核として地域的特色を捉えさせることを意味している。

日本は現在、少子高齢化が年々進行しており、それに伴う社会保障制度や介護福祉制度の見直しや、退職年齢の引き上げなど、様々な事態に直面している。しかし、自治体単位で見ていると、一方では都市化が進み、過密から起こるゴミ問題や騒音などに悩まされる地域や、地方の村落では、若者が都市に働きに出ることで、地元での働き手や後継者が見つからないなどの過疎化の問題に直面している。本単元では、社会的な視点として、中国・四国地方が抱える都市・村落の特色を、菊陽町の実態と比較しながら多面的・多角的に考察し、都市・村落のそれぞれの良さや課題に気付くことで、地域の特色を考える社会的な見方・考え方を育成したい。また、将来どの地域で暮らすことになっても、その地域の良さや課題に気付き、地域を活性化していく人材になってほしい。

(2) 系統観

本単元における系統は以下の通りである。



(3) 生徒観

本学級は、男女間の仲が良く、授業中も活発に発表する生徒が多い。学習に対する意欲も高く、課題に誠実に取り組む生徒が多い。一方で、自分の考えを書いたり発表したりすることに苦手意識を持っている生徒が多く、個人思考の時間になると、周囲の様子をうかがうなど、なかなか自分の考えを書くことができない生徒が多い。本單元における生徒の実態を事前アンケートから分析する。

アンケート結果・2年5組32名分（2名欠席）2018年9月14日実施

1. 地理の学習で「分かった」と思う時はいつか	地域の様子に分かったとき 用語に分かったとき 出来事の繋がりが分かったとき 地域の人々の気持ちが分かったとき	6% 57% 28% 9%
2. 自分の考えをまとめ、発表する学習は好きか	好き きらい どちらでもない	19% 16% 65%
3. 発表しやすくなる方法はどんな方法か	班で考える学習 相手の考えを聞く学習 自分の考えを話す学習 自分の考えを書く学習	81% 5% 5% 9%
4. 中国・四国地方の県名を知っているか	全部分かる 5～8県分かる 1～4県分かる 全く分からない	45% 24% 24% 7%
5. 中国・四国地方に対するイメージ		
<ul style="list-style-type: none"> ・九州に近い・人口が多そう・広島イメージが強い・雨が多そうなイメージ・うどん・暑い・阿波踊り ・四国は小さい・中国地方はよく分からない・地震があった・小さくて少ない県が集まっている ・バスケットチームが4チームぐらいある・海に近い・のんびりとしたイメージ・広島で災害が起きたイメージ 		
6. 人口が増える要因は何か		
<ul style="list-style-type: none"> ・若者がたくさんいること・多くのお店がある・子どもが多くなるから・経済が発達しているから ・交通設備が整っている・その地域に人が集まってくるから・その魅力や暮らしやすさが良いから ・子育てのしやすい町であること 		
7. 人口が増えることでの課題は何か		
<ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞が起きる・幼稚園や保育園の数に限りがある・1つの県だけに集中してしまう ・人口密度が高くなる・人が多くなりすぎて住む場所がなくなってしまう・ゴミなどが問題 ・仕事や住む場所がなくなってしまう 		
8. 人口が減る要因は何か		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多いこと・店が少ない・魅力がないから・少子高齢化が進んでいっているから ・高齢化が進んでいるから・大都市に若い人たちが行くから 		
9. 人口が減ることでの課題は何か		
<ul style="list-style-type: none"> ・その地域を賑やかにしていけば良い・若い人がどんどん上京していく・農業の跡継ぎがない ・町の運営が難しくなる 		
10. 菊陽町は人口増加地域か（無答2）	増加地域である	88%
理由		
<ul style="list-style-type: none"> ・そう聞いたから・転入生が多いから・家がたくさん建ってきているから ・工場やショッピングモールなどの施設や交通機関が整っているから・子育てにちょうど良い環境だから 		
人口減少地域か	減少地域である	6%
理由		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進んできていると思うから 		
11. 菊陽町に暮らしていて課題に感じることは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・町にゴミがよく落ちている ・光の森の方と差がある ・遊ぶところが近くにない 	

このことから、自分の考えや意見を言うことには消極的だが、班で学習するのであれば、自分の考えを発表しやすい生徒が多いことが分かった。本單元については、中国・四国地方にどんな県があるのか、全て理解している生徒は全体の半分もいかなかった。また、この地域に対するイメージについても、よく分からないと答える生徒や、7月に起きた豪雨災害のイメージがどうしても強い生徒がいることが分かった。その中でも、この地方の規模についてイメージを持っている生徒も多

く、テーマに沿った活発な議論が展開されるように発問等の工夫が必要になってくる。しかしながら、地理の学習の達成感を、地域の様子よりも用語が分かったときという生徒が多いため、展開次第では、基礎的事項の習得で満足してしまう生徒が出てこないように写真や資料等を多く活用したい。また、菊陽町に対しても人口増加地域であると回答した生徒が多く、本単元と絡めながらの学習をしていき、中国・四国地方の地域的特色を大観できる授業にしていきたい。

(2) 指導観

- ・1次・2次では、中国・四国地方の大まかな地理的特色について、3次・4次では都市と村落のそれぞれの現状と課題について考え、5次で都市と村落の役割と課題を中国・四国地方の地域的特色を踏まえてまとめる。
- ・都市と村落の役割をより意欲的に考察させるために展開の中で、生徒たちが暮らす菊陽町と比較できる部分は比較させながら考察をさせる。
- ・身近な地域である菊陽町と比較させていくことで、この後の「身近な地域の調査」における調査の視点につなげていくとともに、中国・四国地方の地域的特色をより深く考察していくことに繋げていきたい。

3 単元の目標

社会的事象への関心・意欲・態度	中国・四国地方の自然環境 中国・四国地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に交通網の整備と都市農村の変化に関心を持ち、設定した追究テーマを基に地域的特色について意欲的に追究している。
社会的な思考・判断・表現	中国・四国地方の地域的特色を、人口や都市・村落を中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	収集した資料から、中国・四国地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。
社会的事象についての知識・理解	中国・四国地方について、人口や都市・村落を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

4 単元の指導計画と評価（規準）計画（全6時間 本時4／6）

次	時	主な学習活動	評価
1	1	・中国・四国地方の地形や気候などの自然条件を理解し、単元を貫く課題を設定する。	○山陰・瀬戸内・南四国の3つの地域の自然の特色を、地図や雨温図から読み取っている。(資料活用の技能)
単元を貫く課題：中国・四国地方の都市や農村で見られる課題はなぜ生じるのだろうか？			
2	2	・中国・四国地方の人々の営み 中国・四国地方の産業が、山陰・瀬戸内・南四国で異なることを理解する。	○中国・四国地方の産業の違いを、地形や人口の分布を見ながら説明することができる。(思考・判断・表現)
3	3	・高齢化が進む農村と町おこし 過疎化が進む地域では、どんな課題に直面し、どのようにして克服しているのかを考える。	○上勝町が直面している課題や活性化するために行っていることを理解する。(知識・理解)
4	4 (本時)	・都市の役割とその課題 中国・四国地方で人口が増加している地域の特徴を、地形や交通の視点から考える。	○中国・四国地方で人口が増加している地域の特徴を、様々な視点から具体的に説明ができる。(思考・判断・表現)
5	5	・中国・四国地方をまとめる① 学んだことを応用紙の地図に描き込み、都市や農村の課題をそれぞれまとめる。	○学習したことを基に、中国・四国地方の地域的特色を地図に描き込むことができる。(関心・意欲・態度)
	6	・中国・四国地方をまとめる② 地図に描き込んだ課題を解決するための策を、菊陽町の学習を参考に描き加える。	○中国・四国地方の地域的特色とこれからの展望を学習したことを基に説明することができる。(思考・判断・表現)

5 本時の学習

(1) 本時の目標

○中国・四国地方の中で、人口が増加している地域の特徴を、様々な視点から考察し、説明することができる。

(2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	学習形態	○教師の指導 ・予想される生徒の反応	備考
導入	10分	1. 前時までの学習内容の確認 2. 中国・四国地方の人口分布図を見ながら、どこに人口が集中しているかを考える。	一斉	○前回は過疎地域について学習したことを確認する。 ○本時では人口増加地域の学習を確認する。 ○人口が多い地域はどんなところがあるかを発表させる。 ○中国・四国地方では、瀬戸内地方に人口増加地域が多いことを地図から探す。	前時のプリント 人口増加地域の写真
展開	5分	めあて：瀬戸内地域で人口が増加するのはなぜだろう？		○瀬戸内地域の人口推移のグラフを見せることで、広島市が特に人口増加地域であることを確認させ、広島市について考える事を理解させる。 ○同じ人口増加地域の例として菊陽町の人口推移のグラフを見せ、菊陽町も人口増加地域であることを理解させる。	ワークシート 広島市人口ビジョン 菊陽町人口ビジョン
	20分	中心発問：人口が増加する原因は何だろう？			
	8分	4. 人口が増加している地域には、どのような地域の特徴があるかを考える。	個人 ↓ 班 ↓ 全体 一斉	○菊陽町がなぜ人口増加しているのかを発表させた後、それを踏まえて広島市の人口が増加している原因について、資料をもとに考えさせる。 ○出た意見を分類する(KJ法)ことで、人口増加の要因を考える。 ・産業面、交通面、教育面など	広島市資料 教科書
		5. 広島市の人口が増加している理由を理解する。		○広島市の人口が増加しているのが、歴史的要因や産業が大きな影響を与えていることを理解させる。	
まとめ	7分	6. 本時の振り返りを基に中国・四国地方の都市と農村の役割についてまとめる。	個人 ↓ 全体	○本時の内容を踏まえて、人口が増加する原因を自分の言葉で説明する。	ワークシート

(3) 本時の評価

場面	評価基準
評価	A：広島市の人口が増加し続けている原因を、交通・産業・教育などの視点から具体的に説明することができる。 B：広島市の人口が増加し続けている原因を、自分の言葉で説明することができる。